※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術Ⅰ　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画や彫刻、デザインなどの美術の基本的な内容と鑑賞の分野について学習します。
・基礎的な技術を学ぶとともに、一人ひとり違う感じ方、考え方も大切にしながら、創造的な表現の喜びを味わいましょう。
・他の人の作品や、美術史的に重要な作品なども鑑賞しながら、自分の見方だけでなく、他の人の見方も知ることで、美術に対する理解を深めて生きましょう。

２　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現の意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	多様な表現方法を経験することにより美術の創造活動の喜びを味わい、美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	幾何形体の色彩構成	〔デザイン〕〔鑑賞〕 ・色彩の基礎練習 ・色彩構成 　幾何形体と数字による構成 　配色カードを使用し、様々な色をつくる 　アクリル絵の具で着彩する ・作品レポート	b:　隣り合う色の響きあいを感じ取り、偶然性も楽しみながら配色を考えて表現する。 a:配色カードと同じ色が作れることを目標とし、絵の具の使い方、混色の技法を身につける。 ｃ：出来上がった作品を全員で見ながら、ワークシートにコメントを書いていく。前で作品について発表し、構成で工夫した点を語る。自分の作品についてレポートを記入できる。	・作品 ・基礎練習課題 ・作品レポート	・作品 ・制作途中の作品	・発表の様子 ・ワークシート ・作品レポート
2	手のデッサン	〔絵画・彫刻〕 ・鉛筆による手のデッサン、 　細密描写	ｃ：自分の手をあらためてじっくり観察することで、表現に意欲を持ち、主体的に取り組もうとする a/b：パーツなどの正確な形や角度による見え方の違い、位置関係や大きさの比率などをあらためて知り、また、鉛筆の使い方によって表現を工夫する。	・作品 ・作品レポート	・作品 ・制作途中の作品	制作の様子

※令和４年度以降入学生用

	風景と自分	〔絵画・彫刻〕〔鑑賞〕 ・ブラシやナイフを用いた描画方法を体験し、様々な表現で風景や身体の一部を描く アクリル絵の具で着彩する ・相互鑑賞 ・作品レポート	ｃ：多様な表現の仕方があることを知り、工夫をこらして主体的に取り組もうとしている。前で作品について発表し、構成で工夫した点を語る。自分の作品についてレポートを記入できる。 a：混色による色の作り方や画面上での配置、道具を用いた着彩を学び、制作に生かそうとしている。 ｂ： 多様な表現からそれぞれの個性を感じ取り、自分や他者の作品についての理解を深めている。	・作品 ・作品レポート	・作品 ・制作途中の作品	・発表の様子 ・ワークシート ・作品レポート
3	さざえの彫刻	〔絵画・彫刻〕〔鑑賞〕 ・鉛筆によるさざえのデッサン ・ラフォルムを用いて彫刻する ・相互鑑賞 ・作品レポート	a/ｂ：身の周りにあるもののかたちについてよく観察し、作品として表現することに意欲的に取り組もうとしている。 ｂ：彫刻刀を用いてさざえの形体や質感を立体的に表現するための工夫をこらしている。 ｃ：お互いの作品のよさや表現の工夫を感じ取り、自分の作品についての理解を深めている。前で作品について発表し、形で工夫した点を語る。自分の作品についてレポートを記入できる。	・作品 ・作品レポート	・作品 ・制作途中の作品	・発表の様子 ・ワークシート ・作品レポート ・制作の様子

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度